


県政 NEWS

Innovation

新しい発想・技術・価値観でみらいを創る。

【編集発行】 武田翔 政務活動事務所 〒222-0011 横浜市港北区菊名1-6-11 平田ビル3階
TEL 045-947-2712 FAX 045-947-2713
E-mail : info@shotakeda.com  Facebook 武田翔



武田 翔
Takeda Sho

プロフィール
昭和56年生まれ
神奈川県議会議員(1期)
米国・カリフォルニア州大を卒業後
参議院公設秘書を経て
平成27年神奈川県議会議員選挙
横浜市港北区に初当選。
一児の父でもあり
子育てと教育政策に
力を注いでいる。

未来を切り拓く

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない不確実な状況下では、政治家の責任は極めて重大です。今、下した決定が、数十年も影響する可能性があります。しかしながら、多くの政治家は、無責任な情報発信をし、日本を混乱に陥れています。

コロナに対するエビデンスは未だに少なく、第5波においても、どのようにして感染が拡大し、どのようにして収束しているのか、よくわかっていません。このコロナ禍において、今日の暮らしさえも満足に過ごせない人々に、給付金等を配布することは大切です。同時に、しっかりと暮らしの道筋をつけることができるような環境を構築することも政治の役割だと思います。常に未来を探求し、将来の変化に適應できる体制が求められています。

新型コロナウイルス感染症について

この夏は、新型コロナウイルスの第5波が全国で猛威をふるい、本県でも1日の新規感染者数が3,000人にせまるなど、これまでにない最悪の状況が続きました。

新型コロナ患者の病床稼働率は80%を超え、重症病床については、一時期100%近い数字となり、搬送先が見つからない救急車が、何時間も立ち往生するなど、まさに災害時と言える局面がありました。

また、医療機関に対し、不要不急の手術等を延期し、コロナ患者への対応を強化するよう要請しておりますが、一方で、手術を待つ患者側からすると不安な思いが拭えず、十分な説明がなされるべきと思います。

本県は、これまで地域の医療体制を守りながら、様々な対策に取り組んできました。県民の皆様にご安心していただくため、本県のコロナ対策の取組をしっかりと伝えるとともに、重症化したコロナ患者が行き場を失うことのないよう、医療崩壊を防ぐ取組をさらに強化すべきと考えます。



抗原検査キットについての注意

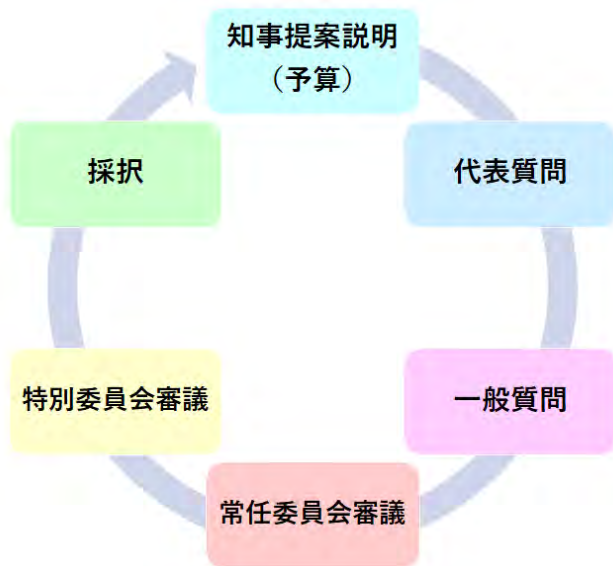
8月27日に開催された臨時会では、保育園、幼稚園や小学校等を通じて、家庭に抗原検査キットを配布する事業が議決されました。

抗原検査キットは、安価な粗悪品が出回っています。体調が悪いのでそのようなキットを使い「陰性」となり、安心して出歩いていたなら、いつまでも体調が治らず、改めて、医療機関で検査をすると「陽性」であった話も多々聞きます。

厚生労働省の承認情報に掲載されている信頼性の高い抗原検査キットを使用することをおすすめします。

神奈川県議会のしくみ

各定例会の流れ



神奈川県議会は、知事提案説明から始まり、左図のような流れで各定例会ごとに行われます。

第1回定例会は44日、第2回定例会は58日、第3回定例会は101日あります(令和3年)。第3回定例会は、通常、定例会2回分おこなわれます。

神奈川県議会の日程は、年間200日開かれるように設定されています。他の議会と比べると倍近い日数があります。

第1回定例会では**予算委員会審議**が行われ、第3回定例会では、**決算委員会審議**も行われます。コロナ禍においては、**臨時会**も頻繁に開催されています。

議員定数の最適化について

7年前、私は県政へ挑むにあたり、「議員定数の最適化」を掲げました。現在、神奈川県議会議員の定数は105名。平成27年の国勢調査を基にした議員一人当たりの人口は4万3458人から8万6916人の間に収まるようになっていきます。

港北区は議員定数が4となっていますが、令和元年におこなわれた4月の統一地方選挙では、**県西地域も定数4**(小田原市2、南足柄市・足柄上1、足柄下1)となります。県西地域の面積は実に、横浜市の1.5倍、県全体の4分の1を占めます。南足柄市・足柄上選挙区は1市5町あり、通常ですと、同選挙区内には賀詞交換会が6回、出初式も6回、成人式も6回あり、単純に計算しても港北区の6倍の行事があります。

憲法第14条には「法の下での平等」が書かれており、一票に格差があってはならないとうたっています。現制度下でさらに議員定数を減らすと、政令指定都市以外の県議会議員が減る傾向が高くなります。

一票の平等は大切ですが、少子高齢化社会を迎えるにあたり、従来のような人口割だけで、県西地域にお住いの方々の声が遠くなくてもよいのだろうか。疑問を抱かずにいられません。思考停止に留まらず、より正しいものを求めて改めることが大切だと思います。

県議会の議員定数等検討委員会において、選挙区の特例制度を含め、選挙区のあり方について、検討が開始されました。小さな一歩ですが、この神奈川県から選挙制度について一石を投じたいと思います。

選挙区別
議員定数



最後の決め手になるのは、私たち1人ひとりの心がけです。新型コロナウイルスについて、より正しい知識を身につけ、ウイルスに負けず、一緒に明るい未来を取り戻しましょう！

